

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 12月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	0173100363		
法人名	有限会社 シルバープラン		
事業所名	グループホーム プランタン びえい		
所在地	上川郡美瑛町大町2丁目531番 (電話) 0166-92-5680		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年12月17日	評価確定日	平成21年2月5日

【情報提供票より】 (20年11月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年 10月 21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 8人 非常勤 12人 常勤換算 10.15人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	管理費 2,000円
敷金	有()円	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(11月24日現在)

利用者人数	17 名	男性 4 名	女性 13 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	4 名	要介護4	6 名
要介護5	0 名	要支援2	1 名
年齢	平均 85 歳	最低 68 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美瑛町立病院、美瑛循環器・内科クリニック、東郷整形外科、旭川ペインクリニック、山崎歯科、丘のまち歯科
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、地域への貢献を目指して開設され、低所得の方でも安心して利用できる低額の料金設定となっている。国道沿いの閑静な住宅街の中で、普通の生活が実感できる立地条件が整っており、ホーム全体が明るく、衛生管理が行き届いた家庭的なホームとなっている。利用者同士が自然に語り合い、助け合う生活がごく普通に営まれており、和やかな雰囲気が感じられた。また、職員のケアに係わる動線が合理的、かつ上手に考慮されていることも、ホーム内の安全と落ち着きを増す要因となっている。施設長および職員全員が同じ思いを共有し、利用者本位のケアの実践に取り組み、サービスの向上に結実するよう、日夜努力されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価で示された改善事項である「ほかの業者との交流」「個人情報への配慮」は、職員全員で検討され、早急な取り組みが行なわれており、すべて改善が図られている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義やねらいを職員全員で理解し、施設長が自己評価表に大まかに記入した後、職員会議などで討議を行ない、気づきやケアの振り返りが行なわれ作成されている。自己評価・外部評価における評価一連の過程を通じて、質の確保に活かしており、サービス向上を目指す前向きな姿勢が伺える。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、ホーム関係者以外に行政担当職員、包括支援センター、町内会関係者をメンバーとして、定期的開催されている。ホームの役割や活動報告、地域への協力事項などが話し合わせ、参加者からの意見や要望をホーム運営に反映させるようにしている。会議において、本年度の自己評価の報告も行なわれている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族へのアンケート調査を実施し意見聴取の機会とし、運営への反映に繋げている。また、日頃から家族との交流を図り、率直な意見や要望が伺える雰囲気作りに努めている。意見や要望が出た際には、迅速に話し合いがもたれケアに反映させている。家族会が発足し、家族との協働を重視した活動を予定している。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内の清掃活動、地域の行事に職員も利用者とともに積極的に参加している。また、プランタン祭りや家族介護教室などのホーム行事に、地域の方々の参加をいただいております。ホームと地域の方々が支え合う双方向の交流が深まっている。また、散歩時に声をかけ合うなど、自然な形で地域の方々と顔馴染みの関係となっている。グループホームの専門性を活かした機能が展開され、地域福祉の充実への活動が更に期待される。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域への貢献を目指して開設されたホームで、地域性を活かし、安心した生活を支えるためのホーム独自の理念を作りあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設長および管理者は、ミーティングや日々の申し送りなどを通して、職員と理念を共有し、また、名札の裏に理念を記載し、常に意識しながら、利用者への支援に努めるよう日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の清掃活動、地域の行事に職員も利用者とともに積極的に参加している。また、プランタン祭りや家族介護教室などのホーム行事に地域の方々の参加をいただいており、ホームと地域の方々が支え合う双方向の交流が深まっている。また、散歩時に声をかけ合うなど、自然な形で地域の方々と顔馴染みの関係となっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義やねらいを職員全員で理解し、前回評価の改善課題は全員で話し合いがもたれ、全項目において改善が図られている。本年度の自己評価は、施設長が大まかに作成した後、職員会議などで討議を行ない、気づきやケアの振り返りが行なわれ作成されている。自己評価・外部評価における評価一連の過程を通じて質の確保に活かしており、サービス向上を目指す前向きな姿勢が伺える。		

美瑛町 グループホーム プランタンびえい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、ホーム関係者以外に行政担当職員、包括支援センター、町内会関係者をメンバーとして、定期的開催されている。ホームの役割や活動報告、地域への協力事項などが話し合わせ、参加者からの意見や要望をホーム運営に反映させるようにしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の担当者とは、実務上の助言や運営について意見を仰ぐなど連携を図り、ホームの実情を折に触れ伝えている。町主催の地域ケア会議への出席や講演会に参加している。また、家族介護教室の開催時には、チラシを役場内に配布し広報に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月「お便り」を作成し、利用者の写真などが掲載され、管理者、看護師、介護職員、担当職員、それぞれの立場から見た利用者一人ひとりの生活の様子を詳細に伝えている。翌月の予定、職員の異動なども報告されている。金銭出納簿は毎月家族に明細を明らかにし、家族の了解をいただいている。年1回「暮らしの便り」を発行し、ホーム行事時の写真、運営推進会議実施状況、介護教室などの様子も報告されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族へのアンケート調査を実施し、意見聴取の機会とし運営に反映させている。また、日頃から家族との交流を図り、気軽に話せる雰囲気作りに努めている。意見や要望が出た際には、迅速に話し合いがもたれ、ケアに反映させている。家族会も発足し、家族との協働を重視した活動を予定している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	施設長は、利用者馴染みの関係を継続することを大切にしており、職員同士の十分な引き継ぎや新任者の紹介など、利用者一人ひとりに合わせた説明方法を工夫するなど、利用者への影響を最小限に防ぐ配慮がされている。また、家族への報告は「お便り」に掲載し報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長および管理者は人材育成の重要性を認識し、年間計画を立て、職員一人ひとりの知識や経験に応じた外部研修に交替で参加し、職員間での共有化も図られている。外部への研修参加費用などは、ホーム負担としている。また、内部研修や救急救命などの実践的な研修も積極的に行ない、学びの機会を確保している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設長や管理者は、関連会議に積極的に参加し、ほかのグループホーム関係者と接触しながら、情報収集や意見交換を行なっている。また、ほかのグループホームとの交流の機会を作り、協働しながらケアの質の向上に積極的に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホーム見学のほか、1週間程度の体験入居が可能であり、相談から利用に至るまで、利用者や家族の視点に立ち、柔軟な対応を実施している。また、職員が利用希望者の自宅や病院などに出向き、利用者の求めていることや家族の話を聴き、利用者や家族が安心して納得いただけるよう、適切なサービス開始の調整を行なっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの経験や得意なことを見極め、活躍できる場面作りの支援が行なわれている。職員は利用者とともに過ごす中で、年長者から学ぶ姿勢を保持し、生活の知恵や知識に触れる場面作りを行ない、協働作業や会話を通して、感謝の意や尊敬の念を表わしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族から生活歴や環境、家族構成など詳細に情報を聴くとともに、職員は、利用者の意向や悩み、思いをじっくりと聴き、利用者がどのように暮らしたいか、過去の生活歴や生活記録を照らし合わせ、利用者本位の検討を行なっている。気づきノートなど、ホーム独自の書式を活用し、情報の共有化を図っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式のアセスメントシートを活用し、状況把握に職員全員で係わり、課題の把握に努め、日常のケアに活かせる取り組みが行なわれている。また、家族や利用者の思いや意向を取り入れ、職員が意見を出し合いながら介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直し、また、利用者の状況や状態の変化などにより見直しを行ない、職員と話し合いながらケアに反映させている。介護計画に連動した記録となっているが、更に充実した日々の記録となるよう努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じた受診の支援、利用者の希望により、買物、馴染みの場所への外出など、ホームで行なえるサービスを柔軟に行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関や利用者のかかりつけ医とも連携を密にし、支援を行っており、職員が通院介助をした際は、受診結果などを記録し、家族に伝えている。看護師が勤務しており、利用者、家族、職員は健康面についても気軽に相談することができる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等並びにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・看取りに関する指針書を整備し、ホームの対応指針について明文化している。入居時に家族、利用者の方針の説明を行ない、同意書をいただいている。利用者の状況変化に応じて、家族、医療関係者と話し合い、段階的な合意を重ねながら、方針の共有を図っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りや羞恥心に配慮しながら、日々のケアを行なっている。個人記録の保管、管理の徹底や第三者への情報提供の目的などを明示した、個人情報提供に関する同意書を整備し、法令を遵守した取り扱いが行なわれている。前年の改善課題の面会簿の書式も改定されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的な一日の流れはあるが、利用者の気持ちや体調、ペースに配慮しながら、望む過ごし方の支援に努めている。また、利用者の状況を見ながら声かけを行なうなど、職員が利用者に合わせていく姿勢が伺え、利用者のペースを大切に支援に努めている。		

美瑛町 グループホーム プランタンびえい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際には職員が同席し、同じ食事を取りながら会話を誘導するなど、和やかな食事の支援が行なわれている。利用者の希望や季節感のある食材を用いた献立を作るよう努めている。利用者一人ひとりの得意分野や意向に配慮し、職員のサポートで一緒に行なっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日を設け、利用者一人ひとりの習慣やペースで入浴ができるよう対応されている。また、健康状態に合わせて、シャワー浴や足浴などの支援も行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のできることや趣味を活かせるように支援しており、食事の準備や片付けなど、生活歴を活かした役割、レクリエーションなどの楽しみごとの実施によって、日常の暮らしに張り合いや喜びを見出せるように努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買物、通院への付き添いなど、天候や利用者の気分に応じて外出支援を行なっている。夏季には頻繁に外に出かける機会を設け、可能な限り一人ひとりの希望にも応じている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全員が、鍵をかけない安全な暮らしについて理解しており、日中は施錠していない。職員は、外出傾向のある利用者を把握しており、外出する様子の時には、さりげない声かけや見守りが行なわれている。また、離設事故時の対応も検討され、不測に備えている。		

美瑛町 グループホーム プランタンびえい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な災害訓練が実施され、夜間帯を想定した防災訓練も行ない、不測に備えている。救急救命などの実践的な研修も行なっている。地域住民への協力依頼はされているが、近隣住民参加による訓練には、まだ至っていない。	○	利用者の安全をより確実のものとする為にも、近隣住民の参加をいただきながらの避難訓練の実施を期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事量や水分摂取量は記録され、食事カロリーや水分摂取が最適になるよう配慮している。職員は、調理方法や盛り付けを工夫し、利用者の食が進むよう努めている。また、利用者一人ひとりの嗜好や状態に応じて調理方法も工夫されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、季節を感じることの出来る飾り付けが行なわれ、清潔でゆったりしており、利用者が居心地良く過ごせる空間となっている。温度・湿度の配慮もされており、気になる臭いもなく、音・光なども適宜調節されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の意向や家族の協力のもと、一人ひとりに応じた生活しやすい環境を整えている。利用者の使い慣れた馴染みの家具や装飾品などが持ち込まれ、家庭の延長線上の雰囲気の中で安心して暮らせる場所となっている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。